

# 平成15(2003)年度 日韓理工系学部留学生研修コース(第一期生)報告

留学生センター 畝田谷 桂 子

## 1 はじめに

鹿児島大学は平成15年10月、日韓共同理工系学部留学生事業の派遣による留学生を第1期生として2名受け入れた。本稿では、留学生センターにおける学部入学前15週間の予備教育「日韓理工系学部留学生研修コース」の概略を報告する。教育内容、学生の到達度評価、学生によるコース評価などを含む詳細は後日別冊の報告書にまとめる予定である。

## 2 日韓共同理工系学部留学生とは？

日韓共同理工系学部留学生事業について以下に説明する。(『留学交流執務ハンドブック』平成14年度版 留学交流事務研究会編著を一部変更して引用。)

1. 平成10年10月に、金大中大統領が訪日した際に、日韓両国の首脳により発表された日韓共同宣言「-21世紀に向けた新たな日韓パートナーシップ-」及び同附属書において青少年交流の拡大が謳われ、その具体策として同国から我が国の理工系大学(学部)に留学生を招致する行動計画が盛り込まれ、日韓両国が共同で本事業を実施することになった。
2. 本事業は、韓国の企業・研究所等における先端技術の更なる高度化の促進を図るため、次代を担う前途有為な学生(高等学校卒業者)を我が国の理工系大学(学部・4年制)へ招致し、最先端技術・知識を習得するとともに、留学生交流を通じた日韓間の相互理解の増進に寄与することを目的として、平成12年度(2000年)から年次計画的に招致留学生の増員を図り、平成22年度(2010年)を目途に最終的には1,000人(新規渡日者200人)規模の留学生を招致する。
3. 日韓共同理工系学部留学生は、日韓合同での選抜試験により選考が行われ、配置大学が決定され、その後韓国内における6ヶ月間の予備教育を受講する。
4. 渡日後は各配置大学の留学センター等において6ヶ月間の後半期予備教育を受講した後、各配置大学の理工学部に入學し、4年間の学部教育を受ける。

## 3 日韓理工系学部留学生研修コース概要

### 3-1 第一期生

姜 旻錫 KANG, Min Seok (工学部機械工学科受け入れ)

文 太俊 MOON, Tae Jun (工学部電気電子工学科受け入れ)

### 3-2 コースカレンダー

学生鹿児島空港到着、空港迎え：10/8(水) 7:30 p.m.

日本語プレースメントテスト：10／9（木）日本語一般コース用テスト

10／22（水）日本語能力試験2級抜粋テスト

オリエンテーション：10／9（木）全留学生向け

10／14、15（火）、（水）日韓コース向け

日韓理工系学部留学生研修コース開講式：10／17（金）

授業開始：10／20（月）（大学祭：11／14（金）午後～11／18（火）まで休講。

冬休み：12／20（土）～1／8（木）

授業終了：2／16（月）

修了パーティー：2／17（火）

春休み日本語特別補講：2／20（金）、3／5（金）、10（水）（各90分）

学部入学までのオリエンテーション：3／18（木）

日本語能力試験2級テスト：3／22（月）

学部入学式：4／5（月）

### 3-3 カリキュラム

予備教育は、専門科目（数学週3コマ、物理週3コマを4回に分割、化学週1コマ、英語週1コマ）、日本語科目（週10コマ：内、日韓特別クラス2コマ、一般コース（レベル別クラス編成による全留学生対象の日本語クラス）8コマ）で実施した。時間割りを以下に記載する。

このうち日本語科目に関しては、12月から当初の時間割りを変更し、初級3（月、水、木）3コマを免除し、新たに日本文化入門（木）1コマを受講させた。時間割りを組んだ時点で得ていた学生の既習情報と異なり、実際は基本文法が導入済みでプレースメントテストの結果からもそれが確認されたこと、当初の時間割りでは昼休みが短く学生に疲れがたまってきたことによる。

	月	火	水	木	金
I 9：35－10：20		物理 小原	物理 河南		
II 10：30－12：00	数学 寛山	物理 小原	物理 河南	数学 寛山	化学 谷
III 12：50－14：20	初級3 園田	漢字圏読解1 四元	初級3 園田	初級3 園田	漢字圏読解1 四元
IV 14：30－16：00	中級作文 祖慶	中級会話1 畝田谷	日韓特別 畝田谷	中級会話1 畝田谷	日韓特別 十島
V 16：10－17：40	英語 マルヴィー		数学 寛山		

■は、専門科目、□は日韓生のための日本語科目、網かけなしは他の留学生とともに学ぶ日本語一般コース科目。

### 3-4 授業担当者

本事業にあたって留学生センターで専門課目の非常勤枠が獲得できたので、いずれの課目もTAではなく、すべて教員が担当したことは特筆すべきである。特に高校教育に長年携わって来られたた先生（数学担当、英語担当）と、本学工学部、理学部教授2名（物理担当）は高大連携の観点で、理想的な講師陣であった。数学、物理は担当教科の教材も作成していただき、現在まとめ作業中である。

年齢的にも20代（化学担当：本学理工学研究科修士修了、共通教育非常勤講師）の親しみやすい先生から60代まで幅広く、課外活動として休日などに幾度も県内各地を案内していただくなど、まさに理想的であった。

### 3-5 受講規則、学生の評価、修了認定

受講規則を以下のように定め、学生向けシラバスに記載した。

「学生は特別な理由（病気など）を除いて、すべてのクラスに出席しなければならない。専門科目（数学、物理、化学、英語）と日韓特別（日本語）クラスは、各クラスの目標設定達成を条件に、修了とする。その他の日本語クラスは「日本語一般コース」の修了規則に従う。各クラスの成績・出席状況を受け入れ学部に報告する。全クラスの修了状況を総合的に判断して、日韓理工系学部留学生研修コースの修了証を発行する。」

その上で学期末に各課目担当者が個人別評価を作成し、各課目評価を総合して修了認定を行った。個人別評価と修了認定は、学生と受け入れ学部に通知した。

このほか、予備教育実施にあたって新たに鹿児島大学留学生センター日韓共同理工系学部留学生予備教育コース規則を制定した。

### 3-6 教育内容、学生の到達度評価、学習態度、学生によるコース評価

各授業の教育内容、学生の到達度評価、学生によるコース評価については後日別冊の報告書にまとめる予定である。日本語能力の到達度に関しては、2001年度日本語能力試験2級問題の抜粋テスト（文法、読解、語彙のみ）を10/22に行った時点では、両学生とも50%程度の結果だったが、3/18に実施した2002年度2級問題（文字・語彙、読解・文法、聴解で400点満点）では、それぞれ397点（99%）、386点（97%）の成績を得ることができた。

学習態度は学ぶ意欲が見られ、礼儀正しく気持ちのよい学生であるという印象をすべての教員が持った。欠席は全体を通じて風邪による1日だけ、遅刻もまったくなく賞賛に値するものであった。

## 4 今後の課題

今後の最大の課題は、受け入れ学生の確保である。継続的な受け入れを目指して広報に工夫すること、第二は、第一期生が学部入学後、問題なく学習しているかどうかの継続的なフォローアップ、第三は予備教育の教育内容をさらに充実させることである。

第一期生の予備教育は、学生、担当教員に大変恵まれた。心から感謝の意を表するとともに、今後の新たな出会いに期待し、第一期生関係者全ての英知と協力を結集して、第2期生に繋げていくことができるよう、力を尽くしたい。

(付録) 日韓共同理工系学部留学生事業に関わる活動 (以下記載の各種会合参加者は畝田谷)

#### 平成12年

- 5月 大阪大学留学生教育・支援シンポジウム「日韓共同理工系学部留学生受け入れのための予備教育のありかた－期待される専門教科教育を中心に－」参加 (於：大阪大学)
- 12月 教育・研究フォーラム「日韓共同理工系学部留学プログラムの現状と課題」(於：富山大学) 参加

#### 平成13年

- 11月 留学生センター運営委員会にて本事業による学生受け入れ及びワーキンググループ立ち上げ承認

#### 平成14年

- 1月 国際交流委員会にて本事業について報告及び受け入れの承認
- 2月 第1回日韓ワーキンググループ開催 (座長：畝田谷)
- 2月 国立大学日韓PML課題検討会 (於：金沢大学) 参加、  
文部科学省より平成14年度受け入れ可能人数調書受領、返答
- 5月 鹿児島大学日韓共同理工系学部留学生事業向けパンフレット作成、印刷 (ハンダ版)
- 5月 本事業受け入れ大学による合同大学説明会に参加 (土田留学生センター長同行)、(於：大韓民国キョンヒ大学)
- 7月 第2回日韓ワーキンググループ開催、  
文部科学省より平成15年度受け入れ可能人数調書受領、返答
- 9月 大阪大学留学生教育・支援シンポジウム「日韓共同理工系学部留学生事業の課題と今後の展開」参加 (於：大阪大学)
- 11月 文部科学省より平成15年度学生受け入れの打診、受け入れを返答

#### 平成15年

- 2月 専門科目 (数学、物理、化学、英語) 非常勤講師枠の獲得
- 6月 文部科学省より平成16年度受け入れ可能人数調書受領、返答
- 6月～ 専門科目非常勤講師人選、予備教育カリキュラム、時間割り作成
- 7月 日韓プログラム協議会「日韓共同理工系学部留学生事業の課題と今後の展開」(於：横浜国立大学) 参加
- 9月 学長裁量経費獲得 (大韓民国慶熙大学における本事業受け入れ大学による合同大学説明会への参加費)、  
本事業受け入れ大学による合同大学説明会に参加 (理学部河南教授同行)、(於：大韓民国

慶熙大学)、

留学生センター運営委員会にて鹿児島大学留学生センター日韓共同理工系学部留学生予備教育コース規則承認

10月 予備教育専門科目担当講師会議、第一期生渡日、開講式、予備教育授業開始

12月 文部科学省より平成16年度本学学生受け入れなしの通知

平成16年

2月 第一期生予備教育終了、修了パーティー開催

2月～3月中旬 日韓予備教育春休み日本語特別補講、学部入学までのオリエンテーションを実施、日韓予備教育報告書の企画準備

3月 日韓プログラム予備教育に関する報告ならびに情報交換会参加（於：金沢大学）